

月寒の鐘

学校だより 第12号
札幌市立月寒中学校
令和2年3月25日発行

願いを込めて

校長 藤井 勲一

3月13日、第73回卒業生たちがこの学舎を後にしました。見守るのは教職員だけ、しかも当日朝の学級での説明だけという状況の中、3年生たちは実に立派な姿で式に臨みました。そして、16日からの分散登校。様々な制約と不安がある中、参加した在校生である1・2生たちの整然として落ち着いた様子に、頼もしさを覚えました。

精一杯の思いをこめて綴った卒業証書授与式での式辞を紹介させていただきます。そして、改めて卒業生たちの巣立ちを心の中で祝福してください。



第73回 卒業証書授与式 式辞

短い言葉となることを許してください。同時に、精一杯に選び抜いた言葉であることも分かってください。卒業生の皆さん。本来であれば、多くの保護者、ご来賓の方々に見守られ、在校生とともにその歴史を重ねるはずであったいつもの卒業証書授与式、それがままならないことに、ここにいる教職員、そして参加がかなわなかった送る側一同、切なさや悔しさをかみしめています。いや、その思いは、皆さんが一番強く抱えていることでしょう。しかし、だからこそ、精一杯の気持ちを込めて、君たちの卒業をお祝いします。第73回卒業生の皆さん、卒業、おめでとう。

この3年間の君たちの成長の軌跡はまた、確かな素晴らしさとして本校の歴史に刻まれてゆきます。1年生のときの幼さ、2年生のときの戸惑い、そうしたものと向き合いながらも、個人として更には集団として、時を重ねるごとに皆さんの表情は豊かになっていきました。とりわけ、3年生になってからのその成長の姿は、まさしく、最上級生という言葉にふさわしい頼もしさにあふれていました。日常で、行事で、生徒会活動で、部活動で、皆さんが残してくれた一つ一つに、学び舎を代表して感謝します。本当にありがとうございます。東北での2泊3日、楽しく語らったこと、学校祭での躍動、一緒に踊ったこと、合唱コンクールの歌声、審査が大変だったこと、そして穏やかな日常、温かな挨拶、多くの感動は、私自身の心の宝物ともなりました。

いつの日か今日という日を振り返ったとき、令和初の卒業生である君たちが、予期せぬしかも前代未聞の試練の中であってなお、腐らず投げ出さず、そうして凜としてしなやかに未来にまなざしを向けている自分たちであったことをどうか誇りに思ってください。

そんな皆さんそれぞれの人生が、今日渡した卒業証書を未来へのパスポートとして、これからもますます豊かなものになることを祈って、今朝、改めて一人一人に贈った私の物語作品の結びを読み上げ、そのまま式辞の結びとします。

「やがてそれぞれが、それぞれのぐちゃぐちゃの春の道を、新しい自分の世界に向けて歩むだろう。どうか、若い魂は夢多きものであってほしい。どうか、若い魂は現実を忘れないでほしい。どうか、若い魂は完成をおそれてほしい。そして若い魂は、ひたすらに素直であってほしい。矛盾や戸惑いの中で、もがきながらも進む自分自身の姿の中に、きっと、今日の喜びを生きるヒントがあるはずだから。」



1・2年生の皆さん。どうかこれからもこの月寒中学校のよき伝統を大切に積み重ねていってください。皆さんなら大丈夫。そして、保護者の皆様。しばらくは不透明な状況の中、たくさんのご理解をいただくことになるかもしれませんが、教職員も頑張っております。どうか、ともどもに乗り越えるために力を合わせていきましょう。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました … 3月をもって離任する教職員からご挨拶

「4380日の感謝」

校長 藤井 勲一 (退職)

大学を出てからの9年、そして定年を迎えるまでの3年、合わせての12年、36年間の教職人生の1/3をここ月寒中学校でお世話になりました。教師として日々生徒たちと向き合っていた若かったときも、校長として学校経営と向き合ったこの3年間も、全く変わらないものがあります。それは、子どもたちの素直な心と学校を温かく見守ってくださる保護者・地域の方々のご理解です。その4380日に只々ひたすらに感謝しています。本当にありがとうございました。



「お世話になりました」

教頭 原田 之彦 (南が丘中へ)

在職4年間では、予想もしなかったような災禍に幾度か見舞われました。しかし、その一つ一つを生徒、保護者、教職員、地域と共に乗り越えてきました。そして素晴らしい事や楽しい日々がそれ以上にありました。月寒中学校は思い出深い学校です。そして素晴らしい学校です。生徒の皆さんのますますのご活躍を期待しています。

「お世話になりました」

社会科 三島 信 (真駒内中へ)

2年間という短い期間でしたが、お世話になりました。今の2年生と修学旅行に行き、卒業していく姿を見たかった。また、東月寒中で始まった教師生活が月寒中で退職を迎えることができ、良かったと思っています。来月からは、2度目の真駒内中の勤務になります。最後に、皆様の健康と健やかな生活を心から願っています。



「感謝」

数学科 田邊 航 (定山溪中へ)

新卒から7年間お世話になりました。素直で純粋な生徒たちと、理解ある保護者の方々に支えられ、2回の卒業生を送り出すことができました。ただただ感謝です。この月寒中学校での素敵な思い出はずっと忘れません。本当にありがとうございました。



「教員として最後のごあいさつ」

英語科 鈴木 雅子 (退職)

この一年、月寒中学校で過ごせたことは、私にとって本当に幸せなことでした。心の温かい生徒のみなさんと共に学習し、私が教わることの方が多かったように思います。これからもお子様の成長を応援していきます。有り難うございました。



「お世話になりました」

特別支援学級 岩本 南美 (真駒内中へ)

生徒の挨拶、明るさ、優しさに何度も元気をもらい、たくさんのパワーをもらいました。また、素直な生徒と温かい保護者に支えられ、八年間で四度の卒業生を送り出すことができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。大変お世話になりました。ありがとうございました。



「お世話になりました」

特別支援学級 新堀 京花 (篠路西中へ)

生徒の皆さんと廊下ですれ違うたびに、清々しいあいさつをしてくれるのが印象的でした。今、この瞬間を大切に、そして一日一日を大切に、何だっけ楽しんでながら過ごしてほしいと思います。離れても、皆さんのことを応援しています。2年間お世話になりました。



スクールカウンセラーの斉藤 京子先生が平岸中学校へ、図書館司書の千葉 愛美さんが柏丘中学校へ異動になります。お世話になりました。

4月当初の主な予定

- 1日(水) 新入生受付
- 6日(月) 始業式 着任式 ※給食なし
- 7日(火) 第74回入学式 (10:30~)
※新2・3は5時間日課、給食有り
- 8日(水) ワーク販売 (7:50~8:15) 体育館にて
新入生歓迎会



※詳しい予定は改めてお知らせします。また、急きょ変更があった場合は、メールまたはホームページでお知らせします。